

受託実習生・病院研修生・研修登録医 申請者のみなさま
依頼元各種養成機関 事務担当の方

山形大学医学部附属病院

当院での実習・研修等にあたっての各種感染症に対する免疫の獲得について (依頼)

山形大学医学部附属病院では、皆様の受入れにあたり、各種感染性疾患に関して、実習・研修等に入る前に必要な免疫状態の獲得を完了して頂いています。

【麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘】

職種・実習等の部署にかかわらず、全員が対象となります。別紙1「フローチャート」に従ってご自身の免疫状態の評価を行い、必要に応じて追加のワクチン接種を実習・研修等の前に済ませてください。間に合わない場合はご相談ください。

【B型肝炎】

患者と身体的に密に接する・検体を取り扱うなどの事由で、血液や体液などへの曝露リスクが相当程度あると考えられる職種・実習を行う方が対象となります。従って、そのようなリスクが極めて低いと考えられる以下の職種(※)に関する実習を行う方は対象外となり、それ以外の職種に関する実習が対象となります。

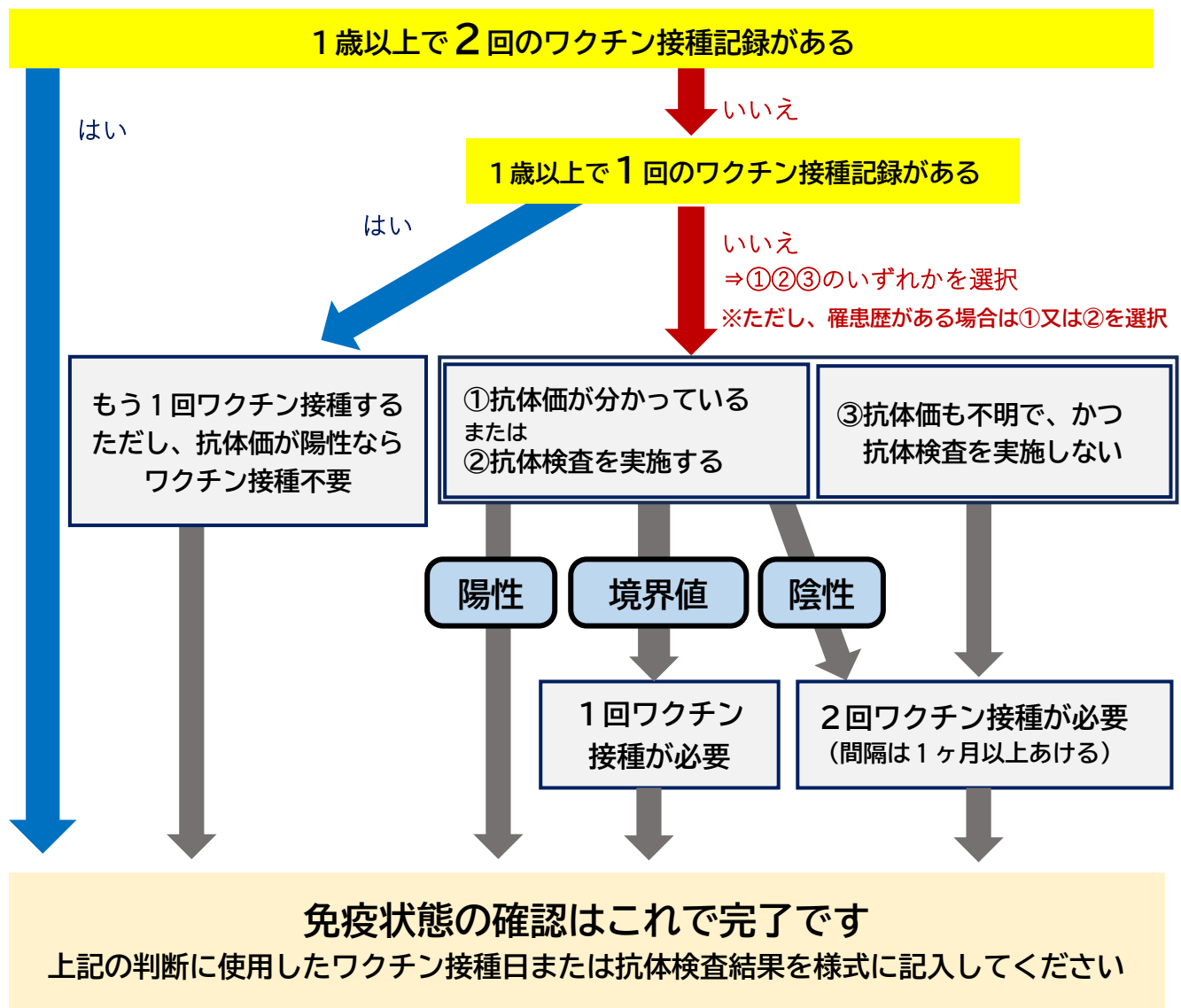
※薬剤師、臨床心理士、管理栄養士、社会福祉士、診療情報管理士・医療事務

【その他】

毎年概ね12月から翌年3月までの実習にあたっては、その年の10～11月にインフルエンザワクチンの接種を受けることを推奨しています。

これらに関する免疫状態をこちらで審査できるよう、申請者が個人の場合は個別に、各種養成機関からの実習依頼がある場合には実習生等を学年ごとにまとめて、様式1にワクチン接種歴や罹患歴・抗体抗体検査結果を入力して提出してください。

麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘のフローチャート



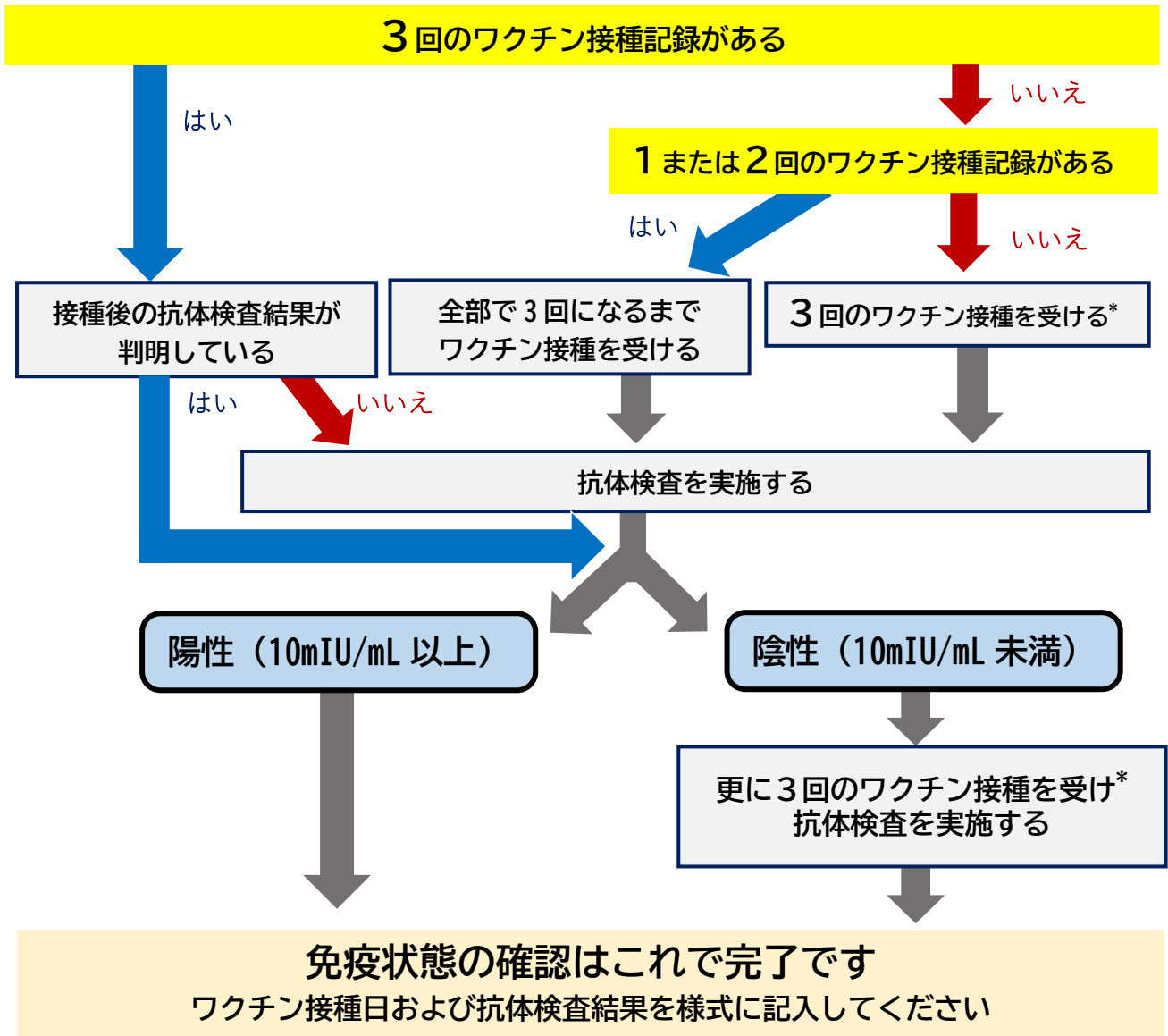
抗体価測定結果の判定基準

抗体価の測定法は数種類ありますが、最も一般的なEIA法で検査された場合の判定基準を示します。それ以外の測定法による検査結果の取り扱いについては、お問い合わせください。

これから検査を受ける場合、必ずEIA法(IgG)で測定してください。

	麻疹・水痘・流行性耳下腺炎	風疹
陽性	4.0以上	8.0以上
境界値	2.0~3.9	2.0~7.9
陰性	2.0未満	

B型肝炎のフローチャート



*ワクチン接種の間隔

3回のワクチン接種を行う場合、以下のような間隔で接種してください。

2回の接種を行う場合は、①と②の間隔で接種してください。

